

季刊誌

正覚寺便り

いのちに合掌 日蓮宗
法華山
正覚寺

令和6年4月4日

春 第2号

〒409-3865
山梨県中巨摩郡昭和町
西条新田832
電話 (055) 275-3283
FAX (055) 275-3283
Eメール: info@shogakuji.me



法華山 正覚寺

公式サイト

<https://shogakuji.me/>



お寺のお知らせ随時更新中!!



お寺の公式SNS
Instagram



KUNUGI.SHOGAKUJI

正覚寺の日常や行事を
日々更新しています!

「諸行無常」に思うこと 住職 功刀 久士

年始より、石川県能登半島を震源とした地震が発生し、不安な年明けを感じざるを得ないスタートとなつてしまいました。

この度の災害に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興を祈念し宗門全体並びに、微力ながら当山でも復興の一助を担えたらと思っております。



能登半島地震

日蓮宗寺院も被災し倒壊

昨年度は十五名の檀家、縁者の方々がお亡くなりになりました。天寿を全うされた方々が多いですが、まだまだこれからのお年で逝去された方もおいでになり、往く者と残される者たちの苦悩や無念を思うとき、人の世の無情、無常を感じざるを得ません。「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常のひびきあり」と平家物語の冒頭にうたわれるように、仏教の考え方の根底にはいつも「諸行無常」が横たわっています。家族が大切な人を失ったことを考

えるとき、生きるものの生命の儚さを感じ、どうにもならない無力感に打ちのめされます。このように考えると、人生に関して悲観的な見方へ一方的に進んでしまいますが、そうではありません。「諸行無常」はもともと「万物は皆必ず変化する」ということであり、私達自身の肉体も、私達をとり巻く環境も時々刻々に変化するということです。人はしばしば錯覚して現在あるものがそのままの状態です。と存続するものと思いが込みます。ところが現実には変化変化の連続です。コロナウイルスでの生活様式の変わり方、もっと狭い範囲でも家系の消滅や核家族化など

説明不要です。このように自分も変化し、周りも変化。人生の旅路を誰もが迷いつつも渡りきらねばなりません。変化し、しかも限り有る命をどのようにして、何の為に燃やし尽くすのか。それには「無常」の積極的側面、すなわち「変える、変化させる」ことに努めればなりません。周りの変化をただ見るのではなく、進んで自分や他人を善い方向に変化させてゆくこと、これが古来からの仏道修行の眼目であると考えます。新年度もまたよろしくご教導下さいますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。